

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	子どもの発達と現代社会						授業形態	講義	
科目コード	750159	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	遠藤 晃、杉尾 直子、渡邊 純子、村上 真珠美、長友 多恵子、出口 佳奈絵、若宮 邦彦、瀬戸口 裕二、野村 宗嗣、藤本 朋美、後藤 吉道、福富 隆志、酒井 喜八郎								
授業概要	本授業は、「子どもスペシャリスト」に至る今後4年間の学びの道筋を示す入門的な講義であり、現代社会における教育的課題とその解決へ向かうアプローチについて、様々な視点（専門性）から取り扱うものとする。そのため、授業は子ども教育学科及び管理栄養学科の教員がオムニバス形式で担当し、食や栄養、教育学、発達と福祉、社会など、多面的かつ総合的な視野を持って現代社会の教育的課題について学ぶ。（オムニバス方式 / 全15回）								
関連する科目	入門ゼミ、教育原理、教育と社会、教育心理学、保育原理、発達心理学								
授業の進め方 と方法	子ども教育学科及び管理栄養学科の教員がオムニバス形式で、食と栄養、教育学、発達と福祉、社会というテーマに沿って現状と課題、解決への手立てについてレクチャーを行う。								
授業計画 【第1回】	【イントロダクション】 第1回: 子どもたちを取りまく現代社会と子どもスペシャリストの役割(遠藤) 子どもたちを取りまく現代社会の課題について、Unicef(ユニセフ)やMDGsのレポートから現状を知り、子どもの権利条約やSDGs、ESDなど課題解決に向けた取り組みと、本学科で目指す「子どもスペシャリスト」の役割と4年間の学びの概要を理解する。								
授業計画 【第2回】	【食と栄養】 第2回: 幼児期の発達と栄養教育(管理栄養学科・渡邊) 乳幼児期の栄養教育マネジメントとその実例を通して、保育と栄養教育連携の重要性について理解する。同時に「栄養士・管理栄養士」に対する理解を深める。								
授業計画 【第3回】	【食と栄養】 第3回: 食生活による子どもの健康(管理栄養学科・出口) 子どもの健やかな成長と発育に必要な栄養と食生活から食育について考える。								
授業計画 【第4回】	【食と栄養】 第4回: 行政現場からの食教育(管理栄養学科・長友) 胎児から高齢者までの食教育を担う行政管理栄養士の仕事を、宮崎県の健康づくり計画「健康みやざき行動計画21」の目標項目や数値から理解をする。								
授業計画 【第5回】	【食と栄養】 第5回: 心身障害児・筋疾患児の栄養管理(管理栄養学科・村上) 心身障害児の摂食・嚥下機能の発達段階にあわせた、食形態による栄養補給法を学ぶ。								
授業計画 【第6回】	【食と栄養】 第6回: スポーツを通しての栄養教育(管理栄養学科・杉尾) スポーツを通して、チーム学校での栄養教育の在り方等について理解する。								
授業計画 【第7回】	【教育学: 予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 第7回: 子どもたちの「学び」の現状と課題(福富) 現代の子どもたちの「学び」をめぐる状況と問題点を、心理学の観点から考える。								
授業計画 【第8回】	【教育学: 予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 第8回: 「子どもたちの対人関係の現状と課題」(後藤) 子どもは周囲の人との関わりをおして成長していくことを考えると、学級づくりの意義はとても大きいものといえる。学級担任による子どもの対人関係能力の育成についてふれていく。								
授業計画 【第9回】	【教育学: 予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 第9回: 保育・幼児教育における「遊び」(藤本) 保育・幼児教育の視点から、子どもにとって「遊び」がどのような意味を持つのか考えます。								
授業計画 【第10回】	【心身の発達と福祉】 第10回: 子どもの身体の発達に関する現状と課題(野村)								
授業計画 【第11回】	【心身の発達と福祉】 第11回: 子どものケアに関する現状と課題(瀬戸口) 「ケア」は何を目的としているのか、高い能力の発揮や社会への貢献が求められる社会において、必ずしもうまくいっていない人や社会の期待には十分に答えられない人々をなぜ「ケア」するのか、あまり考えたことのないことを少し具体的に考えてみましょう。								

授業計画 【第12回】	【心身の発達と福祉】 第12回:社会福祉と子どもの貧困(若宮)
授業計画 【第13回】	【社会】 第13回:SDGs教育と現代社会(酒井) なぜ、SDGsが注目されるようになったのか?SDGsの歴史とは?SDGsの視点からの授業づくりとは?①SDGsの歴史、②これまでのSDGsの教育実践概要、③SDGsの視点からの授業づくりや総合学習の構想方略について講義します。SDGsのもとになったOUR COMMON FUTURE(私たちの共通の未来)の作成者の1人国連チェア、カナダヨーク大学のチャールズホプキンス氏から学んだこと、さらに受講生の作成した「景観レポート」をもとに、SDGsの視点から「主体的・対話的・深い学び」の授業づくりについてみんなで考えたいと思います。
授業計画 【第14回】	【社会】 第14回:ICT教育・メディアリテラシー教育と現代社会(酒井) GIGA構想(一人一台端末)により、ICT教育やプログラミング学習が注目されています。近年のわが国のICT教育、プログラミング学習の現状と、情報化社会で重要なネチケットや批判的思考などのメディアリテラシー教育について講義します。アメリカのマサチューセッツ工科大学で開発されたプログラミング学習のためのSCRATCH、SCRATCH JUNIORについても解説して、時間があれば実習もしてみたいと思います。
授業計画 【第15回】	【まとめ】 第15回:私たちが目指す「子どもスペシャリスト」とは(遠藤) これまで学んだ様々な課題と対応について整理することで、多面的・総合的に理解を深める。また、問題解決に向かうための「子どもスペシャリスト」の役割について考え、「子どもスペシャリスト」へ至るための4年間の学びについて具体的なイメージを構築する。
授業の到達目標	(1) 現代社会で子どもが曝されている問題について食、学び、発達と福祉、社会など多面的かつ総合的に理解を深める。 (2) 問題の解決に向かうための「子どもスペシャリスト」の役割について考えることができる。 (3) 問題の解決に携わる「子どもスペシャリスト」へ至るための4年間の学びについて具体的なイメージを持てる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	・ 授業の予習として、シラバスの内容からキーワードを見つけ、インターネットで検索してイメージを持って授業に臨む。 例えば、第一回の予習としてUnicef(日本ユニセフ協会)のサイトを閲覧しておく、など
授業時間外の学修 【復習】	・ 受講した授業のレポートを作成する。
課題に対する フィードバック	適宜、感想や質問の用紙を配布し、提出を求める。
評価方法・基準	講義者全員の評価を総合して判断する。
テキスト	・ 特に指定はない。 ・ 資料を適宜配付する。
参考書	特に指定しない。
備考	・ 講義の順番は入れ替わることがある。